

平成 24 年 2 月 3 日

各 位

会社名 株式会社 エーワン 精密
 代表者名 代表取締役社長 林 哲也
 (JASDAQ・コード 6156)
 問合せ先
 役職・氏名：代表取締役社長 林 哲也
 電 話：042-363-1039

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 8 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 6 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期 (累計) (平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,062	365	373	211	円 銭 14,105.80
今回修正 (B)	918	236	256	142	9,498.17
増減額 (B-A)	△ 144	△ 129	△ 116	△ 69	
増 減 率	△ 13.5%	△ 35.4%	△ 31.3%	△ 32.6%	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 6 月期第 2 四半期)	886	239	253	148	9,892.97

(2) 修正理由

東日本大震災後の減産を挽回するため増産体制を採る量産品メーカーが多く、当社の受注も増加すると予測しておりましたが、タイの洪水や世界的な景気減速懸念、欧州を中心とする金融不安などから極端な円高が継続していることなどで、当社の売上高が当初の予想を下回る緩やかな増加にとどまったため第 2 四半期の業績を下方修正いたします。コレットチャック部門、切削工具部門の受注増を見込んでいたため、この2つの部門で当初予測を下回りました。製造原価については、今期に入り夏場の電力不足に対応するため急遽、太陽光発電設備の新設を決定したことで減価償却費が増加して減益要因となりました。販売費および一般管理費、営業外損益は特に当初予測との乖離は少なく、売上高が減少した分、固定比率が上昇し利益率が低下しました。

(3) 通期 (平成 23 年 7 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想 (A)	2,150	710	725	403	円 銭 26,912.60
今回修正 (B)	1,950	529	557	317	21,184.05
増減額 (B - A)	△ 200	△ 180	△ 168	△ 85	
増減率	△ 9.3%	△ 25.4%	△ 23.1%	△ 21.2%	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 6 月期)	1,808	492	515	301	20,128.69

(4) 修正の理由

今後については世界的に景気に対する不安要因が残っており予断を許さない状況であり、下期についても現状と同様な動きをするものと判断し、通期業績予想も併せて下方修正いたします。

2. 配当予想修正

上記に伴い、当初、当期の年間配当金の予想を8,100円銭(年間配当金8,100円)と発表しておりましたが、今回7,000円(年間配当金7,000円)と修正させていただきます。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 23 年 8 月 12 日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 8,100.00	円 銭 8,100.00
今回修正予想	—	0.00	—	7,000.00	7,000.00
当期実績	—	0.00	—		
前期 (平成 23 年 6 月期) 実績	—	0.00	—	6,500.00	6,500.00

以 上